

ガラスキャッチ

軒裏作業のように、直接碎り破片をキャッチする作業の場合はバーを取り付ける。碎り破材の重みで、枠が狭まらないように押し開く。



2008.9.21撮影



押し棒は袋の下の鞆部に収納する。破材の重量を下支えをする。

中の敷物を取れば、枠を小さく狭めることも、押しつけて狭めることも可能です。



有限会社 ビルケアサイコウ